

ひだまり



地域の人々と共に生きる



特集（2～5）

地域の人々で福祉のことを考えよう！
福祉教育のすすめ

赤い羽根共同募金運動レポート（6）
ちいき・いきいき通信（6）
すまいるの会のご案内（7）
各種お知らせ、寄付お礼（8）



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。



／ 地域 みんなで福祉のことを考えよう！ ／

福祉教育のすすめ

あわら市社会福祉協議会では、福祉の心を育む福祉教育の取り組みをすすめています。

「教育」と聞くと、子どもが学校で学ぶことをイメージする方が多いかもしれませんが、福祉教育は年齢や場所に関係なく、地域の人みんなで福祉のことを考えていく取り組みです。地域にはいろんな人が暮らしていることを実感すること、思いやりの心を育てることを目的としています。

今号では、市内で行われている福祉教育の事例について紹介します。



／ みんなで取り組みましょう！ ／



宇都宮短期大学 人間福祉学科
教授 宮脇 文恵 さん

2007年のユネスコによる若者向けの調査で、「自力で生活できない人たちに対して、国や政府は責任を負うか」という問いかけに対し、「責任を負う必要はない」と回答したのは、アメリカ28%、イギリス・フランス8%、ドイツ7%に対して、日本はなんと38%です。そして蔓延する「自己責任」という考え方…。あなたは、そんな地域社会と、「困っ

ている人がいれば、お互い様」と助け合う社会と、どちらに暮らしたいでしょうか。

「福祉」とは、「誰も取り残されず、幸せに暮らせる」ことであり、あわせて「その仕組みをみんなでつくっていく」ことです。そして、そうした気持ち育て、行動してこういう力を育てる活動が、「福祉教育」です。

現在は主に小中学校で取り組まれています。子どもだけでなく大人の方も、社協と共にぜひ取り組んでみてください。「自分の周りに困っている人がいるのでは」という学びから、誰もが自分らしく生きられるあわらし市にしていきたいと思います。

地域で学びたい方を
応援します

本会が毎年開催している「あわらふくし塾」では、13講座を用意しています。今年度は、認知症予防からSDGsまで、地域の方が福祉について多角的に学べる内容になっています（今年度のあわらふくし塾についてはチラシをご覧ください）。



企業の皆さんも
地域の一員です



こちらは銀行員の皆さんがシニア体験をしている様子です。手足の麻痺や関節が動きにくくなる障害、視覚障害の見え方を再現する装具をつけて、来店した高齢者・障がい者にとってどんな動作が大変で、どんなサポートが必要なのか、体験を通して学んでいます。

福祉について 一緒に考える

教職員の皆さんや、区長、民生委員・児童委員、福祉推進員など、地域の福祉関係者を対象に、毎年「福祉教育研修会」を行っています。地域の中で今どんな学びが必要なのか、一緒に考える機会を作っています。



小学校×地域の 福祉教育

市内の小学校では、児童たちが校区内で暮らす高齢者へのインタビューを行い、高齢者についての学びや交流を行う取り組みをすすめています。

今年度、北潟小学校・伊井小学校で行った取り組みでは、「歳を取って変わったことは？」、「このまちの好きなところは？」など、児童たちが抱くまっすぐな疑問に、高齢者の皆さんは笑顔で真摯に答えてくれました。人生経験豊富なお話に、児童たちだけでなく先生も驚いていました。

同じ時間を共有することで、「また会おうね」と言い合える関係が生まれています。



伊井小学校でのインタビューの様子。
児童たちが質問をすると、
一つひとつ丁寧に答えてくれました。



「どんなことをされると嬉しいですか？」

「道端で会ったときに、挨拶をしてくれると とても嬉しいね。」

地域で育む思いやりの心

北潟小学校から歩いて行ける距離にある北潟東集落センターでは、月に1回、北潟東区と富津区の高齢者が集まる通いの場「サロンうらら」が開催されています。

北潟小学校の児童たちは、前ページで紹介したインタビュー活動の後、「サロンうらら」の開催日に合わせてこの集落センターを訪問し、演劇やスカットボールなどのゲームで地域の高齢者たちと交流しました。

児童たちからは「毎日行きたい!」という感想が出るほど楽しい時間を過ごせたようです。サロンの参加者の皆さんもとても喜んだことから、今後も交流を続けていけるように取り組んでいるところです。



「大きなカブ」ならぬ「大きな富津金時」の演劇に、参加者の皆さんが目尻を下げている様子が、マスクをしていても伝わってきます。

児童たちは高齢者と一緒に楽しむためのプログラムを考え、高齢者は得意なゲームを児童に教えるなど、お互いが相手のためにできることを考えることで、思いやりの心を育むことにつながっています。

バリアフリーを体感

金津小学校では、車いすを使って、学校のバリアフリーについて学んでいます。校内には車いすに乗っていても登りやすいスロープや、車いすごと入れる広いトイレがあることなど、児童たちの身近にあるバリアフリーを体感しています。同時に「スロープがない段差を登るにはどうしたらいいんだろう?」と、バリアをなくすために自分たちができることについて考える機会になっています。



あわら市社会福祉協議会では、福祉教育プログラムをサポートしています。
学校・企業・団体の皆さん、もちろん地域の皆さんも、
福祉について学びたいという方は、本会まで一度ご相談ください。

1 相談

どんなことを学びたいか、いつ実施したいかなど、電話でご相談ください。

相談日は、実施日より1か月前が目安です。

2 調整・打合せ

講師への依頼や日程の調整を行い、どうすれば良い学びになるか、一緒に考えていきます。

3 実施

実施後は振り返りを行い、学びを通して気づいたことや感じたことを共有します。

〈問合せ〉 あわら市社会福祉協議会 (☎ 0776-73-2253)

▶ご当地アイドル「アミーガス」さん。
トリムパークかなづでの音楽イベントにて、募金の呼びかけに協力してくださいました。



募金でつながる、やさしいまちへ 赤い羽根共同募金運動 レポート

中間報告

※11月30日現在

5,524,951 円

(目標額 7,093,000 円)

10月1日から始まりました赤い羽根共同募金運動に、多くの方からご支援とご協力をいただいております。心よりお礼申し上げます。

皆さまの温かい思いやりに感謝を込めて、これまでの募金活動の中間報告をさせていただきます。

また、12月1からは歳末たすけあい運動が始まります。歳末たすけあい運動は、高齢者・障がい者・児童・困窮世帯の方などに、安心して新年を迎えていただくための活動に役立てられる募金運動です。引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。



▲どこシル伝言板の体験



▲声かけの訓練

地域で見つけた元気な話題をお届けします

ちいき・いきいき 通信

vol.1

古区福祉委員会
「認知症講座」



11月28日、古区福祉委員会が「認知症講座」を開催しました。地区で認知症の高齢者を見かけたときの対応方法を学ぶために、認知症キャラバンメイトあわさか、東邦ホールディングス株式会社、市健康長寿課の協力のもと、認知症高齢者への声かけ訓練や、認知症高齢者保護情報共有サービス「どこシル伝言板」を体験しました。

会に初めて参加したという方は、「このサービスを知らなかったのよかったです。」「操作も簡単だし、このシールを付けた人を見かけたら声をかけてみようと思います。参加して良かったです。」と話していました。

どこシル伝言板とは…

認知症高齢者の情報を共有できるシステムで、認知症の方を発見した際、対象者の衣服や持ち物に貼ってあるQRをスマホで読み取ると家族やあわら市、あわら警察署にメールが届き、伝言板上で情報交換ができるサービス。「片耳が聞こえにくい」「病気を患っている」など見た目ではわからない情報も知ることができます。このシステムに関するお問い合わせは、あわら市健康長寿課まで。
(☎0776-17318022)

家族介護者交流事業

すまいるの会 ご案内

すまいるの会では、家族の介護をしている仲間を募集しています。
介護者同士で、リフレッシュしたり悩みを相談したりできる場です。

お花見や日帰りツアー、クリスマス会、研修会など
みんなで明るく「かいご」ができるように癒しを届けます。

まずは気軽にお問い合わせください。



ゆりの里公園へお出かけ

バスでお出かけして、
介護のリフレッシュを
しています。



クリスマス会

いつもよりちょっと
豪華な食事でクリスマス
気分を楽しんでいます。



認知症研修

介護に関する研修を
開き、日常の介護に役
立てています。

社会福祉法人あわらし市社会福祉協議会
TEL 0776-73-2253 (担当 地域福祉課地域支援グループ)
〒919-0621 あわらし市市姫2丁目31-6 老人福祉センター市姫荘内

寄付・寄贈ありがとうございました

令和3年10月1日～令和3年11月30日受付分（順不同）

社会福祉事業のために

福井県民せいきょうハーツ様より、フードドライブに取り組んだ食品をご寄付いただきました。



他にも多くの皆様から食品のご寄付をいただいております。心よりお礼申し上げます。



社協からのお知らせ

社会福祉協議会会長表彰 授与式を行いました

11月18日、老人福祉センター市姫荘にて、コロナ感染拡大の影響を受け延期となっていた令和3年度あわら市社会福祉協議会会長表彰の授賞式を行いました。

受賞された皆さま、おめでとうございます。



～お詫び～

ひだまり106号の6ページで紹介した、会長表彰受賞者の氏名に誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

（正）中山 佑一 （誤）中山 祐一

あわら市社会福祉協議会
マスコットキャラクター

はるちゃん



ひとりで悩まないで、まずは相談してみよう。

各種無料相談のご案内

各種相談 13:00～16:00

1月

2月

誰かに悩みを聞いてほしい
心配ごと相談

5日(水) 湯のまち公民館
19日(水) 市姫荘

7日(月) 市姫荘
21日(月) 湯のまち公民館

気軽に弁護士に相談できます
無料法律相談※

19日(水) 市姫荘

21日(月) 湯のまち公民館

素敵な相手探しに
結婚相談

24日(月) 市姫荘

14日(月) 市姫荘
28日(月) 市姫荘

※無料法律相談は1人20分間となります。予約制ですので、下記までお電話ください。

申込先 社会福祉法人あわら市社会福祉協議会 ☎ 0776-73-2253

発行 社会福祉法人あわら市社会福祉協議会
〒919-0621 福井県あわら市市姫二丁目 31 番 6 号
TEL 0776-73-2253 FAX 0776-73-4542

ホームページ

社協の事業
はこちらで
チェック!



フェイスブック

いいね!
お待ちしております。



ツイッター

はるちゃん
がつぶやい
てます!



インスタグラム

#あわらの
ふくし を
チェック!



編集後記



新しい1万円札の顔となる渋沢栄一は、社会福祉事業にも尽力された方で、実は全国社会福祉協議会の初代会長を務めていたそうです。共同募金運動をしていると、渋沢が残した「一滴一滴のしずくが集まれば大河になる」という言葉が身に沁みます。皆さまの温かいご支援に心より感謝いたします。